

the University of Southern California"新潟大学歯学部, 2002年6月7日.

- 2) 大学院特別セミナー: 田端泰彦 “再生医療の現状と展望 - 生体組織工学の役割 - ” 新潟大学歯学部, 2002年9月25日.
- 3) 北関東甲信越地区HIV講習会: 塚田弘樹, 池田正一 “HIV/肝炎ウイルス感染者に対する歯科診療の心得” 新潟県歯科医師会館, 2002年10月19日.
- 4) 大学院特別セミナー: 北村信隆 “EBM時代の統計的データ解析を考える” 新潟大学歯学部, 2002年11月28日.
- 5) 歯学部附属病院FD: Michael Glick “Special consideration for Dental Patients with HIV/AIDS” 新潟大学歯学部, 2003年1月29日.

【その他】

- 1) 高木律男: 第15回母親教室 “唇顎口蓋裂” ってどんな病気 - あかちゃんから大人まで -, 新潟大学歯学部, 2002年5月14日.
- 2) 高木律男: 血液媒介ウイルス感染と歯科治療. 平成14年度歯科臨床研修医セミナー (公開), 新潟大学歯学部, 2002年6月19日.
- 3) 児玉泰光, 木南 凌, 高木律男: Genetic study of susceptibility to the development of mouse thymic lymphoma. 第19回新潟大学歯学部口腔外科, 歯科麻酔科同門会, 新潟市, 2002年6月29日.
- 4) 星名秀行: 口腔癌の治療と再建. 新潟 SJCD 平成14年度7月例会, 新潟市, 2002年7月10日.
- 5) 小林龍彰: 顎関節の外科外来 顎関節穿刺法. 平成14年度新潟大学同窓会学術セミナー, 新潟大学歯学部附属病院, 2002年11月8日, 2003年2月7日.
- 6) 安島久雄: 歯を磨く習慣が社会性を育てる. にこにこ子育てランド. 両津市教育委員会, 2002年10月20日.
- 7) 飯田明彦: 口唇口蓋裂. 長岡赤十字病院看護学校講義. 2002年11月5日.
- 8) 星名秀行: 口腔癌の診断と治療. 平成14年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2002年11月20日.
- 9) 小野和宏: 口唇口蓋裂の病態と治療. 平成14年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2002年12月18日.
- 10) 星名秀行: 口腔外科におけるインシデント. 歯学部附属病院内インシデント報告会, 新潟大学歯学部, 2003年1月10日.

摂食機能再建学分野

【論文】

- 1) MD., M., Rahman, Kohno, S., Kobayashi, H., Sawada, K.: Influence of the inclination of the plate of an intra-oral tracing device on the condylar position registered by tapping movement, J Oral Rehabil (in press)
- 2) Tanaka, M., Toyooka, E., Kohno, S., Ozawa, H., Ejiri, S.: Long-term changes on trabecular structure in aged rat alveolar bone following ovariectomy. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 95(4): 495-502, 2003.
- 3) Okayasu, I., Yamada, Y., Kohno, S., Yoshida, N.: New animal model for studying mastication in oral motor disorders. J Dent Res 82(4): 318-321, 2003.
- 4) 野首孝祠, 長島 正, 松屋篤三, 福島正義, 河野正司, 大山喬史ほか10名: 国立大学歯学部附属病院卒後臨床研修共通カリキュラムに基づいた研修項目の集計ならびに評価システムの開発, 日本歯科医学教育学会雑誌17(1): 151-161, 2002.
- 5) 泉 健次, 小林正治, 本間克彦, 新垣 晋, 斉藤力, 寺田員人, 石井一裕, 森田修一, 野村章子: 顎裂部骨移植後の咬合形成に関する臨床的検討, 日口蓋誌27(1): 58-66, 2002.
- 6) 関本智信, 河野正司: ガイド傾斜角度の実験的変化が犬歯の脈動に及ぼす影響, 補綴誌 46(2): 175-184, 2002.
- 7) 湊 修, 河野正司: 鉤間線は浮上り時における絶対的な回転軸ではない - 下顎片側遊離端義歯における検証 -, 補綴誌 46(5): 655-664, 2002.
- 8) 朝日藤寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 小林正治, 飯田明彦, 野村章子, 佐藤孝弘, 吉羽永子, 田井秀明, 石井一裕, 田口 洋, 小林富貴子, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 高木律男, 花田晃治: 新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班登録患者の動向によるチームアプローチの評価について, 日口蓋誌, 27: 297-305, 2002.
- 9) 石岡 克, 河野正司: 咬合支持の安定性が持続的身体運動に及ぼす影響. 新潟歯学会誌 32(2): 267-273, 2003.
- 10) 木内延年, 河野正司, 池田圭介, 道見 登, 植田耕一郎: パラトグラム舌運動機能診断法をもとにした舌接触補助床による摂食嚥下障害者の治療, 補綴誌 47: 135-144, 2003.
- 11) Nomura, A.: Folosirea protezelor amovibile creste cantitatea de secretie salivara la pacientii partial sau total edentati, Viata Stomatologica 2: 8-9, 2002

（Proceeding）

- 12) 安藤栄吾：マウス顎関節滑膜B細胞におけるHsp25の発現について，新潟歯学会誌 32(2)：119-120, 2002(学位研究紹介)
- 13) 湊 修，河野正司：下顎片側遊離端義歯における浮上回転軸の検索，新潟歯学会誌 32(2)：103-104, 2002(最近のトピックス)。
- 14) 細貝暁子，河野正司，山田一尋，林 豊彦，子田浩：側方滑走運動における下顎頭の運動様相～下顎頭骨変化の有無による検討～顎機能誌 9(2)：210-212, 2003(事後抄録)。
- 15) 本間 済，河野正司，武川友紀，金田 恒，細貝暁子，村田はるか：咀嚼回数を指標とした咀嚼能力評価法について，顎機能誌 9(2)：224-225, 2003(事後抄録)。
- 16) 岡安一郎，山田好秋，河野正司，吉田教明：口腔運動疾患研究のための新しい咀嚼運動動物モデル，新潟歯学会誌 31(2)：77-78, 2001(学位研究紹介, 13年度分追加)

【著書】

- 1) 河野正司(分担執筆)：顎運動におけるEBM，EBMをめざした歯科医療 診断能力を向上させ，治療の確実性を高めるために，永末書店，東京，2002-9-10発行。
- 2) 河野正司(分担執筆)：有歯顎咬合のキーポイントと顎機能障害，「開業臨床医のための顎関節機能障害治療」ザ・クインテッセンス別冊，170-176頁，2002年 10月発行。
- 3) 河野正司，澤田宏二(分担執筆)：下顎運動の科学 -ヘルスプロモーションから下顎運動(咬合)を考える，ヘルスプロモーションとオーラル・ヘルス続・新しい歯科医療の展開，日本歯科評論 別冊 2002，51-60頁，2002年 4月発行。
- 4) 河野正司(分担執筆)：かむことと歯，「食べる」(編集 モダンアカデミー)，28-31頁，新潟日報事業社，新潟，2002年 8月発行。
- 5) 河野正司(編集および分担執筆)：顎関節症 日本顎関節学会編，永末書店，東京，2003-3-1発行。

【商業誌】

- 1) 河野正司，花田晃治，前田健康，吉江弘正，高木律男，斉藤 力，興地隆史，小野和宏，小林正治，八巻正樹，芳沢享子，村田雅史，澤田宏二，布川寧子：歯の移植の科学，ザ・クインテッセンス，22：9-20, 2003。

【研究成果報告書】

- 1) 河野正司，八木 稔，澤田宏二，池田圭介：義歯装着前後におけるADLおよびQOLの改善に関する研究，平成14年度日本学術振興会研究費補助金研究萌芽研究(新規)，課題番号14657500，2002。
- 2) 野首孝祠，川崎貴生，大山喬史，河野正司，赤川安正，古谷野潔，五十嵐順正，長島 正：部分床義歯における臨床実績調査結果に基づいた歯科医療への展開，14年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(1)(新規)，課題番号14207085，2002。
- 3) 野村章子，河野正司，山田好秋，野村修一，植田耕一郎，城斗志夫，高橋 肇：グルテンをベースとした摂食・嚥下障害者用介護食の開発，平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(新規)，課題番号14370629，2002。
- 4) 池田圭介：嚥下機能ならびに構音機能の向上に貢献する義歯床口蓋形態の設計方法，平成14年度日本学術振興会研究費補助金研究 若手研究B(新規)，課題番号14771082，2002。
- 5) 河野正司，小澤英浩，江尻貞一，林 豊彦，小林博，池田圭介，金田 恒：加齢または閉経後に生じる顎骨粗鬆化と咀嚼動態の関連に関する形態学・機能学複合研究，平成14年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(2)(継続)，課題番号12307046，2001。
- 6) 大山喬史，森本俊文，河野正司，片山芳文，野首孝祠，古谷野潔，秀島雅之：床義歯の設計様式が口腔感覚に及ぼす影響について，14年度日本学術振興会研究費補助金研究 基盤研究(A)(1)(継続)，課題番号13307056，2002。
- 7) 江尻貞一，河野正司，網塚憲生，池亀美華：顎骨における骨粗鬆症の特異性解明と予防法の確立 - 卵巣摘出サル顎骨の解析と hPTH (1-34) 間欠投与 - ，平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(継続)，課題番号13470382，2001。
- 8) 坂東永一，桑原洋助，河野正司，藤村哲也，中野雅徳，竹内久裕，郡 元治，山内英嗣：顎口腔機能診断のためのデータベース構築に関する研究，平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(1)(継続)，課題番号12470422，2001。
- 9) 小林 博，河野正司，前田健康，山田好秋：必須微量元素を表面にコーティングしたチタンインプラントを用いた神経線維誘導，平成14年度文部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(継続)，課題番号12470416，2001。
- 10) 野村章子，河野正司，野村修一，山田好秋，高橋肇，五十嵐敦子：高齢者の摂食機能を賦活化するためのヘルスケア食品の開発と応用，平成14年度文

部省科学研究費補助金研究 基盤研究(B)(2)(継続),
課題番号12557168, 2001.

【講演・シンポジウム】

- 1) Kohno, S., Takanishi, A., Takanobu, H. (Organizers): Symposium "Mastication and robot", Takanishi A, Takanobu H "Mastication and robot", Hayashi T "Development of an autonomous jaw-movement simulator, JSN, with a physiological control mechanism", Maki K "Evaluation of biomechanical effect of mastication by using humanoid robotic model", Yanagisawa Y "evaluation of a mastication robot (texturobot) to measure food texture", 1st International Congress on Mastication and Health, 2002-9-17, Yokohama, 2002.
- 2) 河野正司 (座長): シンポジウム「咬合治療におけるガイドとは」Cr-Br の立場から (依田洋明), Implant の立場から (榎本紘昭), 欠損歯列補綴の立場から (松崎正樹), 矯正治療の立場から (杉山道男), 日本補綴歯科学会関東支部平成14年度学術大会 2002-8-4 新潟, 2002.
- 3) 河野正司, 森本俊文, 今井俊広, 本多正明: 「咬合再構成における問題点 - アンテリア・ガイダンスは臨床の悩みの種か - 」, 日本顎咬合学会 第20回学術大会, 2002-4-13, 東京, プログラム P.32, 2002.
- 4) 山田一穂, 河野正司, 前田健康, 野澤井上佳世子, 安藤栄吾: ラット顎関節におけるエストロゲンレセプターの局在. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2002-5-10, 補綴誌46 (107回 特別号): 103, 2002.
- 5) 安藤栄吾, 河野正司, 前田健康: マウス顎関節滑膜B細胞に発現するHsp25の機能的意義に関する考察. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2001-5-10, 補綴誌46 (107回 特別号): 104, 2002.
- 6) 村田はるか, 河野正司, 櫻井直樹, 五十嵐直子: 顎関節症患者のタッピング運動時に見られる頭部運動の多点解析. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2002-5-11, 補綴誌46 (107回 特別号): 146, 2002.
- 7) 湊 修, 河野正司, 半沢貴史: 顎頭点に全運動軸点を用いた新しい顎運動測定装置. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2002-5-11, 補綴誌46 (107回 特別号): 148, 2002.
- 8) 宮 琳, 田中みか子, 池亀美華, 大橋直子, 関あずさ, 斉藤 力, 江尻貞一: 卵巣摘出語のサル顎骨に及ぼすAlendronateの影響, 第22回日本骨形態計測学会, 東京, 2002-6-29, 日骨形態誌 12(2): S60, 2002.
- 9) 田中みか子, 大橋直子, 宮 琳, 池亀美華, 林 孝文, 角崎英志, 福崎好一郎, 河野正司, 江尻貞一: 卵巣摘出サルにおける顎骨骨密度と体幹骨密度との関連性に関する検討, 第22回日本骨形態計測学会, 東京, 2002-6-29, 日骨形態誌 12(2): S70, 2002.
- 10) 丸山智章, 林 豊彦, 中村康雄, 加藤一誠: 歯科用CADシステム "Vocs-1B" における最適な咬合接触点の探索支援, 第10回顎顔面バイオメカニクス学会, 東京, 2002-7-6, 7.
- 11) 加藤一誠, 福島正義, 石崎裕子, 小林哲夫, 興地隆史, 宮崎秀夫, 河野正司: 新潟大学歯学部附属病院における卒後臨床研修の特徴, 第21回日本歯科医学教育学会, プログラム名: 頁, 2002-7-12, 13.
- 12) 熊倉喜久夫, 金谷 貢, 野村章子, 中野周二, 野村修一, 宮川 修, 河野正司: 0.7mm 以下の細いCo-Cr合金線を使用したクラスプの維持力ー上顎中切歯1歯欠損に対応する可撤性義歯への応用に関してー平成14年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 32(2): 335, 2002.
- 13) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Kobayashi J, Hayashi T, Hosogai A, Kohno S: Relationship between morphological changes of the condyle and condylar displacement, The 1st Regular Meeting in the Year of Niigata Dental Society, Niigata, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 32(2): 337, 2002.
- 14) 石岡 克, 河野正司: 咬合支持の安定性が持続性身体運動に及ぼす影響, 平成14年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 32(2): 339, 2002.

【学会発表】

- 1) Ohashi, N., Tanaka, M., Gong, L., Ikegame, M., Tsusaki, H., Fukuzaki, K., Kohno, S., Hanada, K., Ejiri, S.: The effects of estrogen deficiency on monkey mandibular condyles following ovariectomy, The 32nd Annual International Sun Valley Hard Tissue Workshop, Sun Valley, Idaho, 2002-8-4 ~ 8.
- 2) Nomura, A., Medina, R., Kohno, S.: Usage of removable prostheses increases the amount of salivary secretion in partially and fully edentulous patients, China-Japan Medical Conference 2002, Beijing, China, 2002-11-3 ~ 6, Program & Abstracts Book Stomatology: 44-45, 2002.
- 3) Gapido, C., Kobayashi, H., Miyakawa, O., Nakano, S., Okawa, O., Kohno, S.: Incidence of fatigue failure in cast 0.8 mm occlusal rests. The 35th Niigata Shigakukai, Niigata, 2002-4-20, 新潟歯学会誌 32(1): 118, 2002.
- 4) 山田一穂, 河野正司, 前田健康, 野澤井上佳世子, 安藤栄吾: ラット顎関節におけるエストロゲンレセプターの局在. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2002-5-10, 補綴誌46 (107回 特別号): 103, 2002.
- 5) 安藤栄吾, 河野正司, 前田健康: マウス顎関節滑膜B細胞に発現するHsp25の機能的意義に関する考察. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2001-5-10, 補綴誌46 (107回 特別号): 104, 2002.
- 6) 村田はるか, 河野正司, 櫻井直樹, 五十嵐直子: 顎関節症患者のタッピング運動時に見られる頭部運動の多点解析. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2002-5-11, 補綴誌46 (107回 特別号): 146, 2002.
- 7) 湊 修, 河野正司, 半沢貴史: 顎頭点に全運動軸点を用いた新しい顎運動測定装置. 第107回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2002-5-11, 補綴誌46 (107回 特別号): 148, 2002.
- 8) 宮 琳, 田中みか子, 池亀美華, 大橋直子, 関あずさ, 斉藤 力, 江尻貞一: 卵巣摘出語のサル顎骨に及ぼすAlendronateの影響, 第22回日本骨形態計測学会, 東京, 2002-6-29, 日骨形態誌 12(2): S60, 2002.
- 9) 田中みか子, 大橋直子, 宮 琳, 池亀美華, 林 孝文, 角崎英志, 福崎好一郎, 河野正司, 江尻貞一: 卵巣摘出サルにおける顎骨骨密度と体幹骨密度との関連性に関する検討, 第22回日本骨形態計測学会, 東京, 2002-6-29, 日骨形態誌 12(2): S70, 2002.
- 10) 丸山智章, 林 豊彦, 中村康雄, 加藤一誠: 歯科用CADシステム "Vocs-1B" における最適な咬合接触点の探索支援, 第10回顎顔面バイオメカニクス学会, 東京, 2002-7-6, 7.
- 11) 加藤一誠, 福島正義, 石崎裕子, 小林哲夫, 興地隆史, 宮崎秀夫, 河野正司: 新潟大学歯学部附属病院における卒後臨床研修の特徴, 第21回日本歯科医学教育学会, プログラム名: 頁, 2002-7-12, 13.
- 12) 熊倉喜久夫, 金谷 貢, 野村章子, 中野周二, 野村修一, 宮川 修, 河野正司: 0.7mm 以下の細いCo-Cr合金線を使用したクラスプの維持力ー上顎中切歯1歯欠損に対応する可撤性義歯への応用に関してー平成14年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 32(2): 335, 2002.
- 13) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Kobayashi J, Hayashi T, Hosogai A, Kohno S: Relationship between morphological changes of the condyle and condylar displacement, The 1st Regular Meeting in the Year of Niigata Dental Society, Niigata, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 32(2): 337, 2002.
- 14) 石岡 克, 河野正司: 咬合支持の安定性が持続性身体運動に及ぼす影響, 平成14年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 32(2): 339, 2002.

- 15) 安藤栄吾, 河野正司, 澤田宏二, 関本智信, 八木 稔: 訪問歯科診療によるADLとQOLの改善に関する調査研究. 平成14年新潟歯学会 第1回例会, 新潟, 2002-7-13, 新潟歯学会誌 33(2): 340, 2002.
- 16) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 小林富貴子, 鈴木政弘: 顎関節症患者の側方咬合位における咬合力に関する研究, 第15回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2002-6-27, 同学会プログラム・抄録集: 106, 2002.
- 17) 村田はるか, 河野正司, 櫻井直樹: タッピング運動時に観察された顎関節症患者の頭部運動の動態, 第15回日本顎関節学会学術大会, 東京, 2002-6-27, 同大会プログラム・抄録集: 135, 2002.
- 18) 林 孝文, 伊藤寿介, 小山純一, 小林富貴子, 小林正治, 野村 務, 小林龍彰, 井上 達夫, 櫻井直樹, 山田一尋: 軸位断MR画像で顎関節円板転位方向は推定できるか? 第15回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2002-6-27, 同学会プログラム・抄録集: 71, 2002.
- 19) 山田一尋, 福井忠雄, 宮城尚史, Akemi Tsuruta, 花田晃治, 細貝暁子, 河野正司, 林 孝文: 変形性関節症患者における咬頭嵌合位と後方咬合位の関連, 第15回日本顎関節学会学術大会, 東京, 2002-6-28, 同大会プログラム・抄録集: 134, 2002.
- 20) 鈴木政弘, 澤田宏二, 櫻井直樹: 強度なブラキシズムを有する顎関節症患者に対する上下スプリントの応用. 第15回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2002-6-28, 同学会プログラム・抄録集: 137, 2002.
- 21) 宮 琳, 田中みか子, 池亀美華, 大橋直子, 関あずさ, 斉藤 力, 江尻貞一: Alendronateは卵巣摘出後のサル顎骨粗鬆化を抑制するが, 顎骨動態にも影響を及ぼす, 第20回日本骨代謝学会, 東京, 2002-7-26, 同学会プログラム抄録集 126, 2002.
- 22) 松井理恵, 河野正司, 花田晃治, 宮城尚史, 五十嵐直子, 澤田宏二, 細貝暁子, 石田陽子: 食物の大きさが開口量と頭部運動量に与える影響 - 骨格性下顎前突症例の場合 -, 日本顎口腔機能学会 第28回学術大会, 仙台, 2002-7-27, 同学会プログラム・事前抄録集: 14-15, 2002.
- 23) 新部洋史, 山田一尋, 福井忠雄, 小栗由充, 細貝暁子, 宮城尚史, 花田晃治, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者におけるタッピング運動中の頭部の協調運動, 日本顎口腔機能学会 第28回学術大会, 仙台, 2002-7-27, 同学会プログラム・事前抄録集: 16-17, 2002.
- 24) 澤田宏二, 河野正司, 安藤栄吾, 八木 稔, 河内博, 幾野 博, 佐藤 徹: 訪問歯科診療による高齢者のADL, QOL 改善に関する調査, 平成14年度日本補綴歯科学会関越支部, 新潟, 2002-8-4, 同学術大会抄録集: 4, 2002.
- 25) 野村章子, 益子典子, 植田耕一郎, 福島正義, 河野正司: 口底がん切除と放射線治療を受けた一症例における摂食・嚥下リハビリテーションの効果, 平成14年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2002-8-4, 同学術大会抄録集: 4, 2002.
- 26) 櫻井直樹: 間欠性ロック症状を有する顎関節症有痛患者に対してチームアプローチを行った症例, 平成14年度日本補綴歯科学会関越支部, 新潟, 2002-8-4, 同学術大会抄録集: 13, 2002.
- 27) 鍛冶山 洋, 野村章子, 山田好秋: 寒天混合による水分補給用ゼリーの検討, 第8回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 宇都宮, 2002-9-6~7, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 6(2): 214, 2002.
- 28) 石田陽子, 河野正司, 小丸圭一, 伊藤将広, 天谷吉宏, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼD289Vの細胞生物学的解析, 第44回歯科基礎医学会, 2002-10-5, 東京, 歯科基礎誌 44(5): 501, 2002.
- 29) 山田一穂, 河野正司, 野澤井上佳世子, 網塚憲生, 前田健康: ラット顎関節におけるエストロゲン受容体の微細構造学的局在について, 第44回歯科基礎医学会, 2002-10-5, 東京, 歯科基礎誌 44(5): 420, 2002.
- 30) 小丸圭一, 石田陽子, 河野正司, 天谷吉宏, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼ(1735-T)の合成と分解, 第44回歯科基礎医学会, 2002-10-5, 東京, 歯科基礎誌 44(5): 501, 2002.
- 31) 江尻貞一, 宮 琳, 田中みか子, 大橋直子, 池亀美華: 顎骨粗鬆化に対するAlendronateとprostaglandin E receptor (EP4) agonist の影響, 第44回歯科基礎医学会, 2002-10-4, 東京, 歯科基礎誌 44(5): 435, 2002.
- 32) 細貝暁子, 河野正司: 歯のガイドと作業側下顎頭外側極および内側極の運動様相の三次元分析, 第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋, 2002-10-11, 補綴誌46(108回 特別号): 68, 2002.
- 33) 細貝暁子, 林 豊彦, 河野正司: 顎頭運動可視化システムの開発, 第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋, 2002-10-11, 補綴誌46(108回 特別号): 142, 2002.
- 34) 田中みか子, 大橋直子, 河野正司, 江尻貞一: 顎骨データを用いた骨粗鬆症診断の可能性に関する基礎的検討, 第108回日本補綴歯科学会学術大会, 名古屋, 2002-10-12, 補綴誌46(108回 特別号): 192, 2002.
- 35) Gapido, C., Kobayashi, H., Miyakawa, O., Kohno,

- S.: In vitro fatigue resistance of cast occlusal rests. 108th Scientific Meeting of the Japan Prosthodontic Society, Nagoya, 2002-10-12, Jpn Prosthodont Soc Vol. 46 (Special Issue): 161, 2002.
- 36) 村田はるか, 河野正司, 櫻井直樹, 松井理恵, 子田浩: タッピング運動時に観察された顎関節症患者的頭部運動の多点解析, 第7回日本頭蓋下顎障害学会学術大会, 大阪, 2002-10-13, 2002.
- 37) 細貝暁子, 山田一尋, 鶴田明美, 林 豊彦, 河野正司, 花田晃治: 顎運動可視化システム開発, 第61回日本矯正歯科学会大会, 2002-10-23, 名古屋, 同大会プログラム・抄録集: 234, 2002.
- 38) 新部洋史, 山田一尋, 福井忠雄, 小栗由充, 細貝暁子, 宮城尚史, 山崎幸一, 花田晃治, 河野正司: 骨格性下顎前突症患者におけるタッピング運動中の頭部の協調運動, 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002-11-9, 新潟歯学会誌33(2): 346, 2002.
- 39) 村田はるか, 河野正司, 櫻井直樹, 細貝暁子: 顎関節症患者におけるタッピング運動時の頭部の運動動態, 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002-11-9, 新潟歯学会誌33(2): 346, 2002.
- 40) 田中みか子, 大橋直子, 宮 琳, 池亀美華, 竹内由一, 林 孝文, 河野正司, 江尻貞一: 歯科における骨粗鬆症スクリーニングの基礎的検討, 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002-11-9, 新潟歯学会誌33(2): 346-347, 2002.
- 41) 山田一穂, 河野正司, 野澤井上佳世子, 網塚憲生, 前田健康: ラット顎関節におけるエストロゲンレセプターの免疫組織化学的研究. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002-11-9, 新潟歯学会誌32(2): 353, 2002.
- 42) 小笠原正卓, 河野正司: 咀嚼運動時に観察される体幹動揺の時系列分析について, 第12回日本全身咬合学会学術大会, 大阪, 2002-11-23,24, 第12回日本全身咬合学会学術大会プログラム・抄録集: 39, 2002.
- 43) Nomura, A., Kanatani, M., Nomura, S., Miyakawa, O., Kohno S: Retention force of thin RPD Co-Cr wire clasps, JADR 50th Annual Meeting, 11-30 ~ 12-1, Sendai, Program and Abstracts of Papers: 117, 2002.
- 44) 山村千絵, 宮岡洋三, 野村章子, 新井映子, 山田好秋: グルテンをベースとした嚥下障害者用クッキーの開発, 日本缶詰協会第51回技術大会, 2002-11-7, 8, 新潟プログラム: 7-8, 2002.
- 45) 細貝暁子, 河野正司, 山田一尋, 林 豊彦, 子田浩: 側方滑走運動における下顎頭の運動様相～下顎頭骨変化の有無による検討～. 日本顎口腔機能学会第29回学術大会, 名古屋, 2002-12-14, 同学会プログラム・事前抄録集: 16-17, 2002.
- 46) 本間 済, 河野正司, 武川友紀, 金田 恒, 細貝暁子, 村田はるか: 咀嚼回数を指標とした咀嚼能力評価法について. 日本顎口腔機能学会 第29回学術大会, 名古屋, 2002-12-14, 同学会プログラム・事前抄録集: 28-29, 2002.
- 【受賞】
- 1) 河野正司: 日本顎口腔機能学会 学会賞 平成14年12月.
- 2) 細貝暁子, 河野正司: 歯のガイドと作業側下顎頭外側極および内側極の運動様相の三次元分析, 第108回日本補綴歯科学会学術大会, 課題講演優秀賞, 2002-10-11.
- 3) 田中みか子, 大橋直子, 河野正司, 江尻貞一: 顎骨データを用いた骨粗鬆症診断の可能性に関する基礎的検討, 第108回日本補綴歯科学会学術大会 デンツブライ賞, 2002-10-12.
- 4) 細貝暁子, 山田一尋, 鶴田明美, 林 豊彦, 河野正司, 花田晃治: 顎運動可視化システム開発, 第61回日本矯正歯科学会大会 学術大会優秀発表賞, 2002-10-23.
- 【その他】
- 1) Kohno, S.: Gast-Vorlesung in Tuebingen Univ. "Frontzahnfuerung", Germany, 2002-8-7.
- 2) Kohno, S.: "Anterior guidance" in Cherraronkon Univ. Thailand, 2002-11-22.
- 3) 野村章子: 唾液分泌機能と有床義歯補綴治療, 平成14年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2002-7-3.
- 4) 野村章子: 歯と健康, 新潟キワニスクラブ第100回例会, 2002-7-17, 新潟.
- 5) 河野正司: 「新しい咬合治療の要件」, 矯正歯科学研究会, 軽井沢, 2002-9-29.
- 6) 櫻井直樹: 補綴治療における前処置について, 平成14年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学歯学部, 2002-10-9.
- 7) 河野正司: 「咬合と顎運動の最近のトピックス」, 石川県水曜会, 2002-10-19.
- 8) 加藤一誠: X線TVを用いた嚥下機能検査外来, 平成14年度病診連携, 母校との連携 を考える体験セミナー, 新潟大学歯学部, 2002-11-2.
- 9) 河野正司, 池田圭介: 「クラウンの支台歯形成と印象採得」 卒後臨床研修講義, 中国・ハルビン医科大学口腔醫院, 2002-11-2,3.

- 10) 河野正司:「咬合:顎位と歯のガイド」,100時間インプラントセミナー,2002-11-27.

加齢・高齢者歯科学分野

【論文】

- 1) Baltag I, Watanabe K, Kusakari H, Miyakawa O: Internal porosity of cast titanium removable partial dentures: Influence of sprue direction on porosity in circumferential clasps of a clinical framework design, The Journal of Prosthetic Dentistry, 88(2): 151-158, 2002
- 2) Kazuharu Irie, Hideyuki Takeishi, Eichi Tsuruga, Yasunori Sakurai, Shuichi Nomura, Hidehiro Ozawa, Sadakazu Ejiri, Toshihiko Yajima: Changes of osteopontin distribution and matrix mineralization during remodeling in experimental bone formation, Acta Histochem. Cytochem. 35(2): 113-118, 2002
- 3) Khraisat A, Stegaroiu R, Nomura S, Miyakawa O: Fatigue resistance of two implant/abutment joint designs, The Journal of Prosthetic Dentistry, 88(6): 604-610, 2002
- 4) Tada S, Stegaroiu R, Kitamura E, Miyakawa O, Kusakari H: Influence of Implant Design and Bone Quality on Stress Distribution in Bone Around Implants: A Three-dimensional Finite Element Analysis, International Journal of Oral & Maxillofacial Implants, 2003(in press)
- 5) Shirakura, M, Fujii, N, Ohnishi, H, Taguchi, Y, Ohshima, H, Nomura, S and Maeda, T.: Tissue response to titanium implantation in the rat maxilla, with special reference to the effects of surface conditions on bone formation, Clin. Oral Implants Res., 2002(in press)
- 6) Atsuko Igarashi, Eiko Arai, Reiko Watanabe, Yozo Miyaoka, Takahiro Tazawa, Hidetoshi Hirano, Shuichi Nomura, Yoshiaki Yamada: Comparison of physical property of agar, low gel strength agar and gelatin, as supplementary food for people with swallowing difficulty, Journal of Texture Studies, 33, 285-295, 2002
- 7) Fujii N, Ohnishi H, Shirakura M, Nomura S, Ohshima H, Maeda T: Regeneration of nerve fibers in the peri-implant epithelium induced to implantation in the rat maxilla as demonstrated by immunocytochemistry for protein gene product 9.5(PGP) and calcitonin gene-related peptide(CGRP), Clin. Oral Impl. Res., 14, 240-247, 2003
- 8) 色川裕士, 佐藤孝弘, 藤井規孝, 橋本明彦, 野村修一: 当科における過去5年間のインプラント治療の臨床統計的検討, 新潟歯学会誌, 32(2), 77-81, 2002
- 9) 魚島勝美, 森尾郁子, 谷口弘江, 江藤一洋: 本学歯学部学生の研究活動に対する意識調査と基礎研究選択実習の評価, 日歯教誌, 17(2), 196-202, 2002
- 10) 森尾郁子, 魚島勝美, 谷口弘江, 江藤一洋: 本学歯学部における「科学英語」教育の現状と課題について, 日歯教誌, 17(2), 203-209, 2002
- 11) 杉田佳織, 紋谷光徳, 浅妻真澄, 加藤直子, 五十嵐敦子, 野村修一: 味覚外来における味覚障害患者の臨床統計的検討, 新潟歯学会誌, 32(1), 19-25, 2002
- 12) 五十嵐敦子, 加藤直子, 野村修一: 老年社会学の歯学部教育への導入(第1報) 受講生へのアンケート調査, 日歯教誌, 18(1), 120-124, 2002
- 13) 加藤直子, 五十嵐敦子, 野村修一: 老年社会学の歯学部教育への導入(第2報) 受講生へのアンケート調査(講義前後), 日歯教誌, 18(1), 125-130, 2002
- 14) 林 豊彦, 金子裕史, 中村康雄, 石田智子, 高橋肇, 山田好秋, 道見 登, 野村修一: お粥の性状と嚥下動態の関係, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌, 6(2), 73-81, 2002

【著書】

- 1) 植田耕一郎, 野村修一: エイジングと歯周ケア. 341-352, 吉江弘正, 宮田 隆 編, 歯周病治療のストラテジー, 医歯薬出版, 東京, 2003年7月25日
- 2) 野村修一: 食べることの老化(花田晃治, 野田忠他). ブックレット新潟大学『食べる』, 46-51, 新潟日報事業社, 新潟, 2002. 8. 31
- 3) 野村修一: 高齢者の身体的特徴(植松 宏, 稲葉茂, 渡辺 誠編). 高齢者歯科ガイドブック, 200-205, 医歯薬出版, 東京, 2003. 1. 25

【商業誌】

- 1) 橋本明彦, 小林康子, 木暮城二, 野村修一: 歯科用金属アレルギーの治療の実際と最近の考え方. 歯界展望, 100(1), 157-164, 2002
- 2) 細山 愼, 佐藤孝弘: ITIインプラントの印象採得. 歯界展望別冊 クラウンブリッジの印象採得, 172-181, 2002
- 3) 大西英夫, 藤井規孝, 野村修一, 前田健康: GBR法によって作られた骨の運命. ザ・クインテッセンス, 21(6), 3-11, 2002